

名湯『異世界の湯』開拓記くアラフォー温泉マニアの転生先は、のんびり温泉天国でしたくASMR音声ドラマ

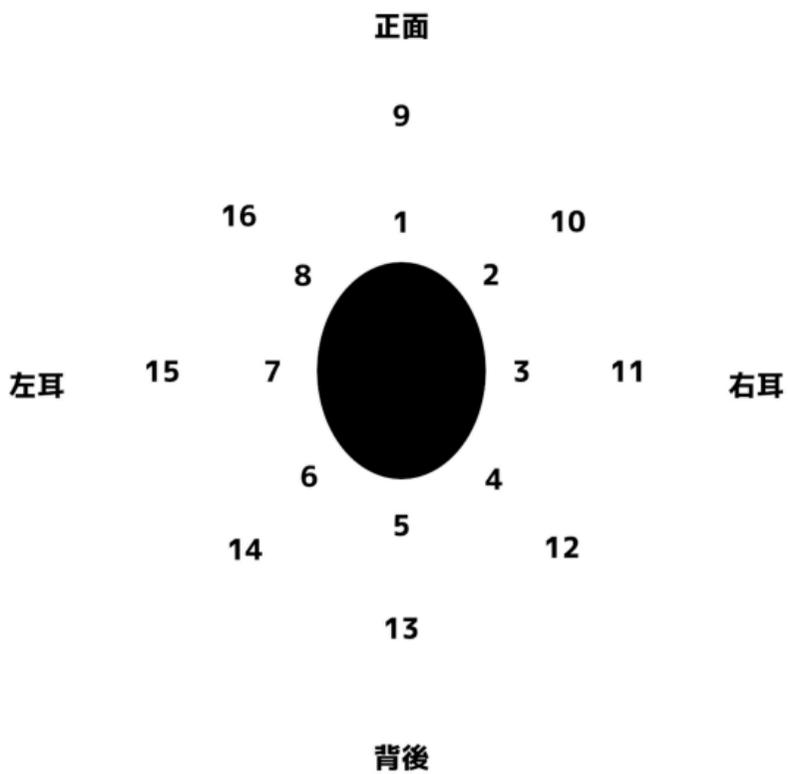
リリウム編「エルフの少女と乙女のきもち」

脚本…香椎 葉平

■登場人物

リリウム…異世界で暮らすエルフ族の少女。「死の泉」に浸かる好蔵と繭玉さんを悪魔のような存在だと思い込み、攻撃をしかけてくる。

※バイノーラルマイクに対するおおよその立ち位置の目安を、左図と各セリフに付記した番号で図示しています。適宜、御参照ください。



○トラック①・エルフの里・好蔵の寢床

『誓いの言葉をささやいて、御主人さまのようになります』

⑦ (リリウムの微かな呼吸音)

⑦ (ささやきで呼びかける) 御主人さま。

⑦ (ささやきで呼びかける) 御主人さま。

(反応を待つ間)

⑦ (ささやき) ぐっすり、お眠りになってますね。

⑦ (ささやき) 温浴効果？ というやつでしょうか。

⑦ (ささやき) これも温泉の効能ですね。

⑦ (ささやき) 御主人さまは、眠りが深(ふ)こ(う)ぐさいます。

⑦ (リリウムの微かな呼吸音)

⑦ (ささやき) 温泉ハンター・湯川好蔵さま……。

⑦ (ささやき) ふふっ♪ 可愛い寝顔。

⑦ (ささやき) あなたの側女(そばめ)・エルフ族のリリウムです。

⑦ (ささやき) 御主人さまの、寢床の中までまいりましたよ。

SE

⑦ さららに体を寄せてくる衣擦れの音。

⑦ (ささやき) あったかい……。

⑦ (ささやき) 好蔵さまのお体、とってもあったかいです……。

(短い間)

⑦ (ささやき) 好蔵さまは、温泉みたいな方ですね。

- ⑤ リリウムが背中に体を寄せてくる衣擦れの音。
- ⑤ (小声で) えへへ、ぴったりくっついちゃいました。
- ⑤ (小声で) おっきい背中……。
- ⑤ (小声で) 御主人さまの背中……。
- ⑤ (ささやき) 心臓の音、聞いてもいいですか？
- ⑤ (小声で) まあ、勝手に聞いちゃいますけど。
- ⑥ (小声で) ……ぴとっ
- ⑥ (小声で) 御主人さまのお背中に、ぴったり耳をくっつけました。
- ⑥ (小声で) おお、聞こえますねえ。
- ⑥ (小声で) 御主人さまの、心臓の音……。
- ⑥ (小声で) とくっ、とくっ、とくっ……。
- ⑥ (小声で) 御主人さまが、今ここで、私と一緒に生きてるって音……。
- ⑥ (小声で) とくっ、とくっ、とくっ……。
- ⑥ (小声で) 心なしか、鼓動が速い気がしますけど……。
- ⑦ (ささやき) 目、覚ましていますか？
- ⑦ (ささやき) まだ、夢をみられていますか？
- ⑦ (ささやき) 私の夢、聞きたいですか？
- ⑦ (ささやき) 私の夢は、御主人さまのお体を、温泉で洗ってさしあげること。
- ⑦ (ささやき) ちよっとすねて(いつもお怒りになるじゃないですか。
- ⑦ (ささやき) ちよっとすねて(余計な真似をするんじゃないって。

⑦ (ささやき) ちよっとすねて(側女(そばめ)のお役目なんですよ？)

⑦ (ささやき) ちよっとすねて(繭玉さんっていう、お世話係がいますけど——)

⑦ (ささやき) ちよっとすねて(私だって、お世話してあげたいんですからね。)

⑦ (ささやき) でも、側女(そばめ)は、ただのお世話係じゃないです……。

⑦ (ささやき) 一番大事な、お役目があります……。

⑦ (ささやき) 御主人さまに、いっぱい愛して頂くこと……。

⑦ (ささやき) たとえダメだとおっしゃられても——

⑦ (ささやき) 抱けないって、お断りになられても——

SE

⑥ リリウムがさらに体を寄せてくる衣擦れの音。

⑦ (ささやき) 私の方が御主人さまを、抱けばいいと思うんです。

⑦ (好藏の耳にキスをする) ちゅっ。

⑦ (ささやき) えへっ、お耳にチュウしちゃいましたよ

⑦ (ささやき) イーデ・ウィリ・イン・レティウイ・ペデ・ペデ・リーイン。

⑦ (ささやき) 私のすべては永遠に、あなたひとりだけのもの……。

⑦ (ささやき) エルフ族に古くから伝わる、愛の誓いの言葉……。

⑦ (ささやき) ぶうっとりと(御主人さま……)。

⑦ (ささやき) 服、脱いじゃいますね……。

SE

⑥ リリウムが服を脱ぐ衣擦れの音。

⑥ (小声で) はう……見られてなくても恥ずかしい……。

⑥ (小声で) 不思議……温泉の中だと平気なのに……。

⑥ (小声で) でも、私はくじけません！

⑥ (小声で) この先はどうすれば……。

⑥ (小声で) えっと……。

⑥ (小声で) お姉さまのナイシヨのご本によると、確か――

① 好蔵がおもむろに振り向く衣擦れの音。

① (短い悲鳴) きゃあっ！

② (焦って) ぐぐぐ、御主人さまっ!?

② そのっ、いつから目を覚まして……。

② (返事を聞いて逆ギレ) いつからだってよかろう、じゃありませんっ！

② 私はですね、あのっ、そのっ……！

② 何をしてたと訊かれますと……。

② えっと……。

(顔が真っ赤になっていく間)

② (羞恥) はううう~~~~っ！

② (羞恥で涙ぐむ) どうして私をいじめるんですかあ？

② (涙目で) 何をしてても、別にいいじゃないですかあ！

② ……ふえ？ まず服を着ろ？

② (自分が裸であることを思い出して) ふひゃああっ！

② 脱いだ服を慌てて手に取り、体を隠す衣擦れの音。

② (羞恥) ちうちうちうちう~~~~っ！

SE

SE

- ⑨ そんなに恥ずかしがるなって、恥ずかしいものは恥ずかしいんですっ！
- ⑨ 温泉で見慣れてるとか——
- ⑨ 御主人さまだつて、温泉の外では、女の子の裸は苦手じゃないですか。
- ⑨ (すねて) むううっ。
- ⑨ (すねて) もう、お嫁に行けません……。
- ⑨ (すねて) 御主人さまが責任を取って、私をもらってくださいね。
- ⑨ (すねて) 何でだ？とか、聞いちゃダメなんです。
- ⑨ (すねて) こういう時はですねえ、ストレートに言うものなんですよ。
- ⑨ (カッコつけて) お前、俺のものになれよ。
- ⑨ お姉さまの、ナイショのご本に書いてありました。
- ① さあ、私の後に続いて言ってください。
- ① (超カッコつけて) お前、俺のものになれよ。
- (好蔵が言うのを待つ間)
- ① (歓喜を噛みしめる) くくくっ！
- ① もう一回！ ね？ もう一回言ってください！
- ① 今度ですねえ、えっと——(と、本のセリフを思い出し)
- ① (カッコつけて) 一生、俺から逃げらんねえから。
- ① さあ！(と、促す)
- (好蔵が言うのを待つ間)
- ① もっと感情込めなきゃダメですよお。

① こんなふう言うんです——

① (超カッコつけて) 一生、俺から逃げらんねえから。

① 言ってください、御主人さまっ！

(好蔵が言うのを待つ間)

① (歓喜と興奮を噛みしめる) ~~~~~っ！

① 興奮して、顔が熱くなっちゃいます。(ど、両手で顔を押しさえる)

① 手を離れたせいで服が落ちる衣擦れの音。

① (「丸見えだぞ」と指摘されて) ……ふえ？ どうしたんですか？

① 体を隠してる手で顔を押しさえると……裸が……まる見え……。

① (慌てて) ふひゃあっ！

SE ① 落ちている服を慌てて手に取って体を隠す音。

① ご、御主人さまはヘンタイさんです……！

① そんなに見つめるくらいなら、思い切って抱いてくれたらいいじゃないですか！

① 興味ないなら、あっち向いててください。

① お洋服、着られないんです。

① 早くしてください。

SE ① 好蔵が背を向ける音。

⑤ (服を着る) んしょ……んしょ……。

SE ⑤ リリウムが服を着る衣擦れの音。

⑤ もういいですよ、こつちを向いても。

SE

① 好蔵が振り向く衣擦れの音。

① えへへ……。

① ……私、ちゃんとカワイイですか？

① 今日はですね、立派な側女として、御主人さまに尽くしてあげる日なんです。

① お姉さまがエルフ族の部族会議で、繭玉さんは温泉宿のお仕事……。

① 私だけが取り残されて、やることもなくて退屈で寂しいとか、決して決して、そんなことはありません。

① 仮にそうだとしても、殿方の寢床の中に潜り込むとか、そんなはしたないまね、するわけがないんです。

① 私はもう大人ですし、構って欲しい子犬じゃないんですから。

① ……御主人さま、分かりましたか？

① 分かったなら、「はい」ってお返事です。

① 「はい」ってお返事、できますか？

(好蔵が「はい」と答える間)

① ふふっ、いいお返事です。

① ねえ、御主人さま？

① お姉さまにするみたいに、抱きついてもいいですか？

① いいって言われなくても、しちやいますけど。

① (好蔵に抱きつく) えいっ♪

SE

① 好蔵に抱きつく衣擦れの音。

① お姉さまはいつも、「いい子ね」って、頭を撫でてくれるんですよ？

① 御主人さまだって、してくれてもいいと思います。

SE

① 好蔵がリリウムの頭を撫でる音。

① (気持ち良さそうに) はう……頭なでなで……。

① 気持ちいい……。

(短い間)

① 今日はたっぷり、私が尽くしてあげますね。

① してほしいことがあれば、何でもおっしゃってください。

① お願い、何でも叶えてあげますから！

○トラック②・エルフの里・好蔵の寝床

『マッサージしたら、抱っこしてくれますか？』

⑪ 御主人さま、準備はいいですか？

⑪ ベッドやお布団などくつろげる場所に、うつ伏せで横になるんです。

⑪ さ、ごちびにどうぞ。

⑪ ゆっくり三つかぞえるまで、待っててあげますから。

⑪ いきますよ。

⑪ (ゆっくりと)ひとっ—

⑫ (ゆっくりと)ふたっ—

⑬ (ゆっくりと)みっっ。

(短い間)

⑬ ふふっ、できましたね。

⑬ 旦那さまはおりこうです。

⑬ 「旦那さま」でもいいんです。

⑬ だって、今日は二人きり。

⑬ たとえ身分は側女(そばめ)でも、気分は新婚さんですから。

SE リリウムが側に近付いてくる衣擦れの音。

⑤ それじゃ、お背中揉んでいきますね。

⑤ 温泉宿といえば、やっぱりマッサージです。

⑤ 蘭玉さんに、やり方、ちゃんと教えてもらったんですから。

④ えと……まずは、右の肩に意識を集中してください。

④ 私の手が、ぐーっと肩を押しますよ。

④ ほら、ぐーっ……。

(肩を指で押す間)

④ 想像するだけで、気持ちいい圧力を感じませんか？

④ もう一回……ぐーっ……。

(肩を指で押す間)

⑥ 今度は反対。左の肩に、意識を集中してくださいね。

⑥ いきますよ、ぐーっ……。

(肩を指で押す間)

⑥ もう一回です……ぐーっ……。

(肩を指で押す間)

⑤ えへへ、なかなか上手でしょう。

⑤ 背中もしてあげますからね。

⑤ 私の小さな女の子の手が、背中をぐっぐっって押すんです。

⑤ 背骨の辺りを、肩甲骨から下に向かって。

⑤ ほら、意識を集中です。

⑤ 気持ちいい感覚を、想像してくださいね。

⑤ いきますよ〜——

⑤ ぐっ、ぐっ、ぐっ、ぐっ……。

(指で背中を押す間)

⑤ ぐっ、ぐっ、ぐっ、ぐっ……。

(指で背中を押す間)

⑤ 今度は背中を、私の手がなでます。

⑤ 上から下へ……なでなで……なでなで……。

⑤ すうーって、なで下ろしますよ。

⑤ (好蔵の背中をなで下ろす) すうー……。

⑤ ほうほう、御主人さまのお尻は、こんな感じなんですnee。

⑤ (好蔵のお尻をなでる) なでなで、なでなで……。

⑤ (怒られて短い悲鳴) きゃあっ！

⑤ もう、いきなり怒ることないじゃないですかあ。

⑤ 「痴漢をするな」って、失礼ですよ！

⑤ これはただの……えっと……触診ですっ！

SE ⑦ 好蔵の隣に潜り込んでくる衣擦れの音。

⑦ 「何で怒りながら添い寝してくるんだ」ですか？

⑦ 決まってるじゃないですか。

⑦ 御主人さまが、失礼なことを言うからです。

⑦ 私のこと、抱っこしてください。

⑦ でないと、気が済まないんですから。

SE ① さらに体を近づけてくる衣擦れの音。

① (ささやき) 御主人さま……。

① (ささやき) 抱っこ……。

SE

① 好蔵がリリウムを抱き寄せる衣擦れの音。

① (ささやき) 御主人さまは今、こんなふうに思っています。

① (ささやき) リリウムはやっぱり、まだ子供だな。

① (ささやき) ふふっ、そうですよね、まだまだ子供なんです。

SE

① リリウムが抱かれながら体を動かす衣擦れの音。

① (ささやき) 御主人さまは、こんなふうにも思っています。

① (ささやき) リリウムは、寂しがりやの甘えん坊だ。

① (ささやき) それも正解です。

① (ささやき) ひとりぼっちは苦手です。

① (ささやき) 誰かがそばにいてほしい……。

① (ささやき) でも、誰でもいいってわけじゃない……。

① (ささやき) みんながそばにいと嬉しい……。

① (ささやき) 御主人さまだと、一番嬉しい……。

① (好蔵の目を見つめている呼吸音)

① (小声中) 御主人さま……。

① (小声中) 私は、立派な側女ですか？

① (小声中) その……オトナの意味で抱かれなくても、ちゃんとお役に立ててますか……？

① (小声中) 時々、すこし不安になるんです。

- ① (小声で) 御主人さまは、温泉ひとすじ……。
- ① (小声で) 繭玉さんは、みんなが認める御主人さまの相棒……。
- ① (小声で) お姉さまは、ちゃんとした大人の女性……。
- ① (小声で) だったら、私は何なんだろうって……。
- ① (小声で) 私は、いてもいいのかなって……。
- ① (好蔵の答えを待つ間の呼吸音)
- ① (小声で) そのままでいろ、ですか？
- ① (小声で) お前はそのままでもいいって、でも……。

(好蔵の話を聞く間)

- ① (小声で) みんながお前から、元気を分けてもらってる――
- ① (小声で) 前向きな明るさが、みんなを元気にしてくれる――
- ① (小声で) だから、お前はそのままでもいい……。
- ① (小声で) みんながお前を必要にしてる、ですか……。
- ① (小声で) ……御主人さまも？
- ① (小声で) 御主人さまも、私のことが必要ですか？
- ① (小声で) 必要だって、言ってください。
- ① (小声で) 心から、そう思ってるのなら……。
- ① (小声で促す) 御主人さま……。
- ① (好蔵が「必要だ」と言うのを待つ間)
- ① (小声で) ……本当に？

(好蔵が「本当だ」と答える間)

① (小声で) 仕方ないですねえ。

SE

① 好蔵の体に頬ずりをする衣擦れの音。

① (ささやき) そこまで言うのでしたら、ずっとお側にいてあげます。

① (ささやき) 御主人さまが「もういい」って言うまで、ずっとずーっとです。

① (ささやき) エルフの寿命は長いんですから……。

① (ささやき) 覚悟してくださいね♪

SE

① 好蔵に体を擦り寄せてくる衣擦れの音。

② (鼻を鳴らすように匂いを嗅ぐ) すんすん……すんすん……。

⑧ (鼻を鳴らすように匂いを嗅ぐ) すんすん……すんすん……。

① (小声で) 御主人さまは、御主人さまの匂いがしますね。

① (小声で) イヤとか、そういうんじゃないんです。

① (小声で) むしろ、安心するっていうか……。

① (小声で) 温泉に入ってる時は、温泉の匂いじゃないですか。

① (小声で) 硫黄泉だと、腐った卵のようですけど、不思議とイヤじゃない匂い……。

① (小声で) 黒湯は、森とひとつに溶け合って、瞑想(めいそう)してるような……。

① (小声で) フミン酸?のせいですよね。

① (小声で) 含鉄泉は剣やナイフのような……鉄の匂いですね。

① (小声で) 御主人さまにも、御主人さまの匂いがあります。

① (小声で) 御主人さま御自身が、まるで温泉です。

① (小声で) 女の子同士で、いつも話してるんです。

① (小声で) 御主人さま自身が、温泉みたいな人だよねって。

① (小声で) 何湯かは分かりませんが……。

① (小声で) 優しいけど、熱くて厳しいところもありますから――

① (小声で) ……熱湯(あつゆ)？

① (小声で) 優しく熱く厳しくも、みんなを包んで癒してくれる……。

SE ① 好蔵にさらに体を寄せる衣擦れの音。

② (小声で) あったかい……。

② (ささやき) 好蔵さま、私の匂いも嗅いでみませんか？

② (ささやき) いい匂いがすると思うんです。

② (ささやき) ドキドキしても、いいんですよ？

② (ささやき) ね？ 嗅いでみてください。

(好蔵が匂いを嗅ぐのを待つ間)

① (小声で) ……どうですか？

① (小声で) 石けんの匂い、しますよね。

① (小声で) 私たちの石けん、黒湯のお湯を煮つめて、ヒニューダの種の油と混ぜて作るじゃないですか。

① (小声で) そこに花のエキスも加えて、香りを強くしてみたんです。

① (小声で) 高級品として、新しいお土産になるかもって。

- ① (小声で) 今はまだ、試作品ですけど……。
⑧ (鼻を鳴らすように匂いを嗅ぐ) すんすん……すんすん……。
⑧ (小声で) くっついてるから、甘い香りがこもって……。
⑧ (小声で) お花畑にいるみたいです……。
⑧ (呼吸音)
⑧ (小声で) 何か変です、私の方までドキドキして……。
⑧ (少し興奮した呼吸音)
⑧ (小声で呟く) 体が熱い……。
⑧ (興奮した呼吸音)
① (小声で) 御主人さまの唇……。
① (小声で) 私の唇……。
① (小声で) もしもこうして、くっつけたら……。
① (小声で) 御主人さま、美味しそう……。
① (小声で) 食べちゃいたいです……。
① (小声で) 私のこと、召し上がりますか……。?
① (キスしようとして) ん……。
SE
① リリウムのお腹がぐうぐうと鳴る音。
① (我に返って) ……はっ!
SE
⑨ 寝床から飛び起きる衣擦れの音。
⑨ けけけ、けだものっ!

⑨ 御主人さまは、けだものですっ！

⑨ こんな……どう考えてもエッチなオトナのことを、朝からしようとするなんて！

⑨ 御主人さまがお望みになれば、いつでも覚悟は出来てますけど……。

⑨ でも、自分からだなんて、エルフはそんな、はしたなくはないんです！

⑨ (好蔵の話を聞いて) ……イランイランって何ですか？ お花？

⑨ (好蔵の話を聞いて) さささ、催淫効果とか、何言ってるんですかっ！

SE
⑨ リリウムのお腹がぐうぐうと鳴る音。

⑨ (恥ずかしそうに) はう……。

⑨ と、とにかく、まずは朝ごはんにしましょう。

⑨ その後はえっと……のんびり朝風呂です。

⑨ 今日は、することもないですし。

⑨ もちろん一緒に、ですよ？

○トラック③・エルフの里・温泉旅館の食堂く含鉄泉

『いい子だから、あーんしてあげますね』

- ⑦ (朝ごはんのパンを頬張る) はむっ。
- ⑦ (咀嚼音) もぐもぐもぐ……。
- ⑦ (飲み込む) ん……。
- ⑦ えへへ、御主人さまと朝ごはん。
- ⑦ 温泉街の朝ごはんには、ビュッへ？っていうのもあるんですよ。
- ⑦ (言い間違いを指摘されて) ビュッフエ……ビュッフエ式？
- ⑦ 今度、ビュッへ式でも食べてみたいです！
- ⑦ (ミルクのコップに口をつける) ん。
- ⑦ (ミルクを飲む音) んっんっんっ……。
- ⑦ ぶはっつ。
- ⑦ 朝のミルクは最高ですねえ。
- ⑦ リリウムは、この一杯のために生きてます。
- ⑧ ふえ？ 唇の上に、白いおひげがついてますか？
- ⑧ 御主人さま、拭いてください。
- ⑧ (唇を差し出す) んー。
- ⑧ (唇を拭いてもらって) えへへ、お優しいですね。
- ⑧ 隣にいたっていいじゃないですか。
- ⑧ 側女(そばめ)ですから、お食事の時だって、お側にいなきゃダメなんです。

- ⑦ それにしても、寢床の中では大変でした。
- ⑦ あの石けん、やっぱり、ヒニューダの花のエキスが多すぎたんですね。
- ⑦ お土産で売ったりしたら、大変なことになってました。
- ⑦ 花の香りにあんな効果があるなんて……。
- ⑦ (好蔵の言葉を聞いて) エルフの里が子だくさんになる、ですか？
- ⑦ 御主人さまは、がっつりスケベですね。
- ⑧ 「むっつり」「じゃなく、「がっつり」です。
- ⑧ 繭玉さんだって、「主(ぬし)さんもオスやから、油断したらあかんで」って、いつも言ってますし。
- ⑧ 男の人って、ほんとにどうしようもないと思います。
- ⑧ いくら私が側女(そばめ)でも――
- ⑧ (恥ずかしそうにぶつぶつと) 仮に興味があったとしても……その……オトナすぎて、出来ないこともありますし……。
- ⑧ (好蔵に聞き返されて) 何て言ったか、分からなくなっちゃっていいんです！
- ⑧ 朝ごはん、早く食べちゃいますよ。
- ⑦ (サラダの野菜を食べる) はむっ。
- ⑦ (咀嚼音) もぐもぐもぐ……。
- ⑦ (飲み込む) ん……。。
- ⑦ んっっ、美味しいっっ
- ⑦ (サラダの野菜を食べる) はむっ。
- ⑦ (咀嚼音) もぐもぐもぐ……。

- ⑦ (飲み込む) ん……。
- ⑦ (野菜の味にうっとりする) ん〜〜っ
- ⑧ (好蔵の口ぶりをまねて) 温泉地では湧き水にも、栄養となるミネラルがたっぷり含まれている――
- ⑧ (好蔵の口ぶりをまねて) それゆえ、野菜の栽培には向いているのだっ！
- ⑧ 御主人さまの、おっしゃる通りでしたね。
- ⑧ あ、御主人さまもお野菜、食べてしまわれたんですね。
- ⑧ でも、まだスープが残っています。
- ⑧ 熱々のカボチャのポタージュ。
- ⑧ 「ふ〜ふ〜」して、「あ〜ん」してあげますね。
- ⑧ スプーンですくって、と――
- ⑧ (息を吹きかけて冷ます音) ふ〜ふ〜、ふ〜ふ〜。
- ① はい、あーん……。
- (好蔵がスープを飲むのを待つ間)
- ① えへへ、美味しいですか？
- (好蔵が「美味しい」と答えるのを待つ間)
- ① もうひと口、あーん……。
- (好蔵がスープを飲むのを待つ間)
- ① まだありますよ〜、あーん……。
- (好蔵がスープを飲むのを待つ間)
- ① 御主人さまは、よく食べておすごうです。

SE

- ① リリウムが食器をテーブルに置く音。
- ① ごほうびに、なでなでしてあげます。

① いい子、いい子——

SE

- ① 好蔵の頭を撫でる音。

① あ、でも、ほっぺにちよつと、ついてます。

① えと……動かないでくださいね？

⑧ (キスで舐めとる)ちゅっ……ぺっぺっぺっ

① えへへ、直接、舐めて取っちゃいました。

① あくっ、何でそんな、迷惑そうな目で見るとはですかっ。

① (好蔵の言葉を聞いて)調子に乗りすぎじゃないかって……調子に乗ってなんかいません。

① 私はただ、必要とされたくて……。

① それに……。

① 御主人さまは私のこと、可愛いかと思いますか？

① 正直な気持ち、教えてほしいです。

① (好蔵の言葉を聞いて)子犬みたいで可愛い、ですか……。

① 欲しい言葉とは、ちよつと違いますけど——

① (笑顔で)でも、嬉しいから許してあげます。

① (好蔵の言葉を聞いて)子犬の方が、ずっと扱いやすいけどな、ですか？

① もうっ！ そういう余計なことまで言うから、御主人さまは御主人さまなんです

よー！

- ① お詫びしてもらいますからね。
- ① 私と二人で、温泉に入るんです。
- ① 朝ごはんの後は朝風呂だって、さっき言ったじゃないですか。
- ① 早く準備をしてください。
- ① お風呂の中で、して欲しいことがあるんですから。

(間)

SE

- ⑩ 含鉄泉の側にある打たせ湯の音が聞こえ始める。
- ③ (温泉に浸かって) ぷっひゅうく、最高ですねえ。
- ③ 幸せですねえ。
- ③ 最高の朝ごはんに、最高の温泉。
- ③ お日さまが上ってるうちから、こうして、のんびり……。
- ③ 私たちエルフは、どうして今まで、こんな天国が地上にあることを知らずに生きてこれたのでしょうか？

③ 今思うと、何だか不思議な気がします……。

SE

- ⑩ 少し離れた場所で続く打たせ湯の音。
- ③ 鉄泉の効能は、月経障害の緩和です。
- ③ いわゆる生理不順などの、婦人病に効くと言われてるんです。
- ③ 私だって、もう子供じゃないですし、そういうことも勉強して当然なんです。
- ③ リリウムが振り向くお湯の音。
- ② 御主人さま……。

SE

SE

- ② リリウムが体を寄せてくるお湯の音。
- ② (ささやき) がんばって、好みのオンナになりますね？

(短い間)

SE

- ② (好蔵がうろたえるのを見て嬉しそうに) 御主人さまがびっくりしました。
- ② 繭玉さんに教えてもらったんです。
- ② 「主(ぬし)さんはヘンタイやから、こんなふうに言うたら喜ぶぞ〜」って。
- ② 怒らないでください。
- ② 温泉道では、ぶんすかするのも禁止です。
- ② それにまだ、私へのお詫びが済んでません。
- ① リリウムが好蔵の脚の間に入ってくるお湯の音。
- ① 御主人さまの、脚のあいだ……。
- ① 繭玉さん、いつもこうして、温泉に入ってるじゃないですか。
- ① 後ろからこう、抱っこしてもらって……。
- ① あれ、いつも、うらやましかったんです。
- ① その特等席を、今日は私がひとりじめ……。
- ① 私だけの、旦那さまになってもらいます。
- ① だって、二人きりの一日ですから。
- ① それが、私へのお詫びです。
- ⑩ 少し離れた場所で続く打たせ湯の音。
- ① (咳く) 幸せ……。

SE

① (眩く) 今、とつても幸せです……。

① 御主人さまも、お詫びに幸せになってください。

① 約束ですよ？ えへへっ♪

(了)